

専門科目

A Z 環境都市・建築デザインコース

環境都市・建築デザインコースの教育課程

○ 教育目的

環境の保全と再生及び安全・安心で持続的発展が可能な社会を実現するため、幅広い視野と豊かな人間性をそなえ、環境都市デザイン並びに建築デザインとその応用分野に関する高度な知識と技術を身につけ、創造性と研究開発能力をもち、ものづくりを先導できる実践的専門技術者を育成する。

○ ディプロマ・ポリシー

産業システム工学専攻のディプロマ・ポリシーDP3 について環境都市・建築デザインコースでは、その目標とする人材像を育成するため、以下に掲げる専門分野の知識と技術を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、修了を認定する。

- ・ 建設分野、水工分野、環境分野、計画分野、建築分野を柱とする環境都市・建築デザイン分野の高度な専門知識を身につけ課題解決に応用できる能力。
- ・ 環境都市・建築デザイン分野の技術に関する実験・測定技術を保有・駆使できる能力。

○ カリキュラム・ポリシー

産業システム工学専攻のカリキュラム・ポリシーCP3 について環境都市・建築デザインコースでは、得意とする専門分野について、以下の方針に従ってカリキュラムを編成する。

- ・ 環境都市・建築デザイン分野の専門知識と技術を深化させるため、建設分野、水工分野、環境分野、計画分野、建築分野の応用的な授業を開講する。

科目の学年配置と科目間のつながりはカリキュラム表及びカリキュラムの流れ図に示す。

○ 教育方法

次の方法で教育を実施する。

- 1) マンツーマン指導も可能な少人数教育環境を生かし、質疑応答を主体にした密度の高い教育(講義、演習、実験、研究など)
- 2) 講義と実験・演習との効果的バランスにより、理論を実験で検証し、実験結果を理論的に解析するなど双方向的学習で高度な知識と創造性を養う教育
- 3) 特別研究を重視した教育、専攻科1年生前期から2年間、研究課題をもって計画的に研究を遂行し、得られた結果をまとめ、公表する、という一連の過程を通して研究開発能力・発表能力の養成
- 4) 技術者倫理教育の重視、技術者倫理の必要性、歴史的視点、安全性の面から教育
- 5) 学外研修や学外高等教育機関での履修など学生が自主的に行う学習の支援

コース専門科目 担当教員名簿 (環境都市・建築デザインコース)

教員所属：(Z) 環境都市・建築デザインコース

(所属) 職 名	氏名	担当科目	連絡先	
			研究室 (ダイヤルイン)	メールアドレス @hachinohe-ct.ac.jp
(Z) 教 授	南 将人	海岸港湾工学 環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ	Z棟3階 (27-7310)	minami-z
(Z) 教 授	藤原広和	水理学特論 環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	Z棟3階 (27-7311)	fujiwara-z
(Z) 教 授	丸岡 晃	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅰ 環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	Z棟3階 (27-7304)	maru-z
(Z) 教 授	庭瀬一仁	建設材料学特論	Z棟3階 (27-7307)	niwase-z
(Z) 准教授	杉田尚男	構造解析学特論 環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	Z棟3階 (27-7313)	sugita-z
(Z) 准教授	清原雄康	地盤工学特論 環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	専攻科棟3階 (27-7367)	kiyohara-z
(Z) 准教授	馬渡 龍	建築デザイン特論 環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ	Z棟3階 (27-7309)	mawatari-z
(Z) 准教授	金 善旭	建築構法特論 環境都市・建築デザイン工学演習Ⅰ 環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ	Z棟3階 (27-7312)	kim-z
(Z) 准教授	李 善太	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	Z棟3階 (27-7305)	leesuntae-z
(Z) 非常勤講師	今野恵喜	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅱ 地域計画学特論	専攻科棟1階	konno-z
(Z) 非常勤講師	今野大輔	特別研究Ⅱ		

令和5年度 専攻科授業科目一覧

コース専門科目(環境都市・建築デザインコース)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修 科目	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	2	2				
	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅰ	1	1				
	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅱ	1			1		
	特 別 研 究 Ⅰ A	2	2				
	特 別 研 究 Ⅱ	10			5	5	
	開 設 単 位 計	17	6	0	6	5	
選択 科目	環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ	1		1			
	環境都市・建築デザイン工学研修	1		1			
	特 別 研 究 Ⅰ B	5		5			
	構 造 解 析 学 特 論	2	2				
	海 岸 港 湾 工 学	2				2	
	水 理 学 特 論	2	2				
	地 域 計 画 学 特 論	2			2		
	建 設 材 料 学 特 論	2	2				
	地 盤 工 学 特 論	2	2				
	建 築 デ ザ イ ン 特 論	2	2				
	建 築 構 造 特 論	2					R5年度開講なし
	建 築 構 法 特 論	2				2	
	開 設 単 位 小 計	25	12	7	2	4	
	開設単位合計	41	17	7	8	9	
修得単位数62単位以上（一般科目11単位以上、専攻共通科目15単位以上、コース専門科目30単位以上）							

2. 専門科目

環境都市・建築デザインコース

(令和5年度以降入学者)

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	備考
			1年		2年							
			前期	後期	前期	後期						
必修 科目	環境都市・建築デザインコース実験Ⅰ	2	2					◎	○			
	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅰ	1	1					◎				
	環境都市・建築デザイン工学演習Ⅱ	1			1			◎				
	特 別 研 究 Ⅰ A	2	2			○	○	◎	◎	○		
	特 別 研 究 Ⅱ	10			5	5	○	○	◎	◎	○	
	開 設 単 位 計	17	6	0	6	5						
選 択 科 目	環境都市・建築デザインコース実験Ⅱ	1		1				◎	○			
	環境都市・建築デザイン工学研修	1		1				○		◎		
	特 別 研 究 Ⅰ B	5		5			○	○	◎	◎	○	
	構 造 解 析 学 特 論	2	2					◎				
	海 岸 港 湾 工 学	2				2			◎			
	水 理 学 特 論	2	2					◎				
	地 域 計 画 学 特 論	2			2				◎			
	建 設 材 料 学 特 論	2	2					◎				
	地 盤 工 学 特 論	2	2						◎			
	建 築 デ ザ イ ン 特 論	2	2						◎			
	建 築 構 造 特 論	2			2				◎			
	建 築 構 法 特 論	2				2			◎			
	開 設 単 位 小 計	25	10	7	4	4						
	開 設 単 位 合 計	41	15	7	10	9						

修得単位数62単位以上（一般科目11単位以上、専攻共通科目15単位以上、コース専門科目30単位以上）

環境都市・建築デザインコース

専攻科(1~2学年)開講科目の流れ図

専攻科1年

専攻科2年

DP1	特別研究(○)	特別研究(○)
DP2	環境都市・建築デザインコース実験(○) 特別研究(○)	特別研究(○)
DP3	構造解析学特論(◎) 建設材料学特論(◎) 地盤工学特論(◎) 水理学特論(◎) 建築デザイン特論(◎) 環境都市・建築デザインコース実験(◎) 環境都市・建築デザイン工学演習(◎) 環境都市・建築デザイン工学研修(○) 特別研究(◎)	海岸港湾工学(◎) 地域計画学特論(◎) 建築構法特論(◎) 建築構造特論(◎) 環境都市・建築デザイン工学演習(◎) 特別研究(◎)
DP4	環境都市・建築デザインコース実験(○) 特別研究(◎)	特別研究(◎)
DP5	環境都市・建築デザイン工学研修(◎) 特別研究(○)	特別研究(○)

DP1 豊かな教養を基盤とし、学際的な視野を有し、地球環境と社会における科学・技術の重要性を理解できる。

DP2 数学、物理、化学等の基礎知識、及び技術者としての高い倫理観を身につけ、広く産業の発展に寄与できる。

得意とする専門分野の知識と技術、及び他の専門分野の応用知識を身につけ、課題解決に応用できる。
【環境都市・建築デザインコース】
・建設分野、水工分野、環境分野、計画分野、建築分野を柱とする環境都市・建築デザイン分野の高度な専門知識を身につけ課題解決に応用できる能力。
・環境都市・建築デザイン分野の技術に関する実験・測定技術を保有・駆使できる能力。

DP4 地域課題に関心を持ち、自らが課題設定・解決能力を有し貢献することができる。

DP5 国際的な学術研究や異文化を理解する姿勢、及び討議・発表力と英語基礎力を身につけて特別研究等の各種発表等で活用できる。